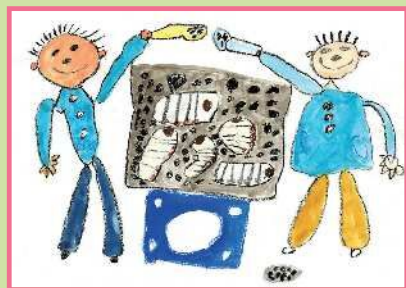


みていただくにあたって

子どもの絵は 心のあらわれです



「カブトムシ うんちがたくさんでたいへん」

上の絵は、幼稚園で飼っているカブトムシの幼虫の世話を友達と一緒にしている絵です。幼虫がたくさんフンをした驚きと、カブトムシになるのを楽しみにして、大変でも世話を頑張っているという思いが絵から伝わってきます。

一枚一枚の絵から、子どものつづやきが聞こえてくるようです。絵に添えられたコメントからも、その思いをくみ取ってください。

幼稚園の生活のなかで

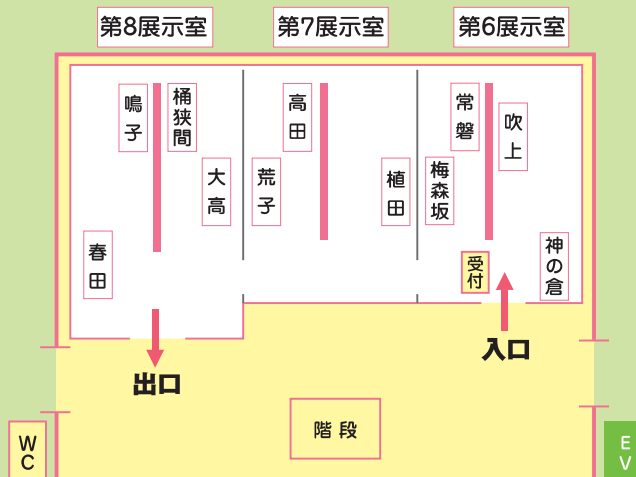
教師は、子どもが描きたいとき、作りたいときに、その思いが実現できるように、絵の具やパス、紙や空き箱など、いろいろな教材や素材を整えます。

また、「わあ、大きい」「みてみて」など、子どもが心を動かしたことに、教師も共感し、一人一人の表現したい気持ちが高まるように関わります。

表現する過程の子どものつづやきや話に教師は耳を傾け、出来栄ではなく、その子なりの表現が豊かになるようにしています。

会場案内

(8 階)



本年度出品園

吹 上 高 田 常 磐

荒 子 春 田 鳴 子

桶 狭 間 大 高 神 の 倉

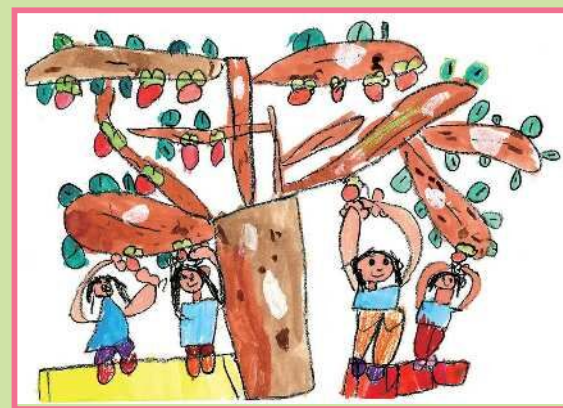
梅 森 坂 植 田

主 催 名古屋市教育文化祭実施委員会
名古屋市教育委員会
名古屋市立幼稚園長会
協 賛 名古屋市教育会
名古屋市立幼稚園PTA協議会

第77回 名古屋市教育文化祭

名古屋市立幼稚園

展 覧 会



「柿を まわしてとったよ」

日 時

令和6年12月3日(火) ～ 12月8日(日)

開催時間 9:30～17:00

＜入館は16:30まで ※最終日のみ入館は16:00まで＞

会 場

名古屋市民ギャラリー栄 第6・7・8展示室

(中区役所平和不動産共同ビル8階)

地下鉄・市バス「栄」駅下車 徒歩5分

(地下鉄12番出口より東に50m)

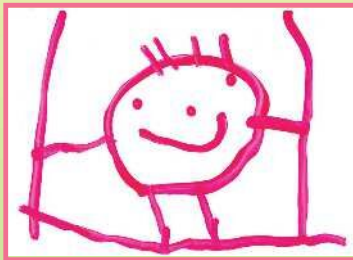
こんなことが表現につながります

楽しかったこと、うれしかったことなど、心を動かすできごとに出会ったとき、
子どもは自分なりに言葉や体、絵などで表現しようとします。



3歳児の絵の表現の特徴

なぐり描きをしながら、腕を思いのままに動かして楽しんだり、描いたものを自分なりに具体的なものに見立てたりします。何度も何度も繰り返し描くことを楽しみながら形をとらえていきます。



「ブランコで立っているところ」



「どんぐりいっぱいひろったよ」

4歳児の絵の表現の特徴

興味や関心のあるものを感じたままに表現するようになります。また、思いつくままに次から次へと描くなかで、いろいろな色を使うことを楽しむようになります。



「キリンを見たよ 草を食べてるの」



「ぞうがトマトのごはんを食べているよ」

5歳児の絵の表現の特徴

見たことや印象に残ったことを描くようになります。ものごとを自分なりにとらえようとよく見るようになり、色や形など細かい部分まで表そうとします。

また、想像の世界や、友達と感動を共有したできごとでも表現するようになっていきます。



「ツルを引っ張ったらどどん芋が出てきたよ」



「大手町のえきはたのしいよ」